交通誘導の合図 早見表

新任の警備員の方へ

警備員の合図は、運転する人や歩く人に協力を**お願いする**ものです。見える位置に立ち、決めた形ではっきり合図します。

警察官の手信号との違い

	警察官などの手信号	警備員の合図
法律での意味	交通整理。信号機の青・黄・赤と同じ意味（道路交通法第6条・施行令第4条）	協力のお願い
従う決まり	従わなければならない（道路交通法第7条）	強制力はない
根拠	道路交通法	特別な権限はない（警備業法第15条）

合図でしてはいけないこと

- 依頼した会社や現場の都合で、ほかの車や歩行者を止めて優先させる「**優先誘導**」**はできません**
- 信号機のある場所では、信号機に従ってもらいます。信号と違う動きはお願いできません
- 協力してくれた人には、会釈などで感謝を伝えます

合図の種類（図は、上から見た車と合図の意味）

合図	意味の図	伝えたいこと	気をつけること
停止		ここで止まってほしい	止まる位置が分かるように、早めにはっきり示す
進行		進んでほしい	対向の車や歩行者がいないことを確かめてから出す
徐行		速度を落としてほしい	工事の区間の手前など、余裕のある場所から伝える
幅寄せ		左右どちらかに寄ってほしい	寄ってほしい側をはっきり示し、寄れる幅があるかを確かめる
後退の誘導		後ろへ下がる車を誘導する	運転する人と事前に打ち合わせ、死角に入らず、声や警笛を使う

誘導灯・手旗（小旗）・大旗のどれでも、この合図をします。交通誘導警備業務検定2級の実技にも「小旗・誘導灯・大旗を使用した徐行、停止、進行及び幅寄せの誘導」と「警笛及び素手の合図による車両の後進誘導要領」が入っています（警視庁の出題範囲の表）。

道具の使い分け

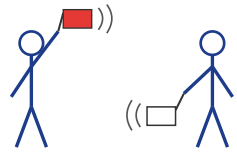
誘導灯	光る棒。暗い時間帯や見通しのよくない場所でも遠くから見える（夜間は赤色の大型懐中電灯など：国土交通省の指針）
手旗（紅白の小旗）	紅い旗と白い旗を使い分ける。明るい時間帯の現場でよく使う
大旗	大きな旗。遠くの運転する人にも合図が伝わる
警笛	音で合図を伝える。後退の誘導でも使う
無線機	離れた警備員どうしで、止める・流すのタイミングを合わせる
服装	目立つもの（反射するもの）。保護帽・安全靴・安全ベスト

合図のやり方　5つの基本

1. **見える位置に立つ**：入ってくる車が余裕をもって向きを変えられる位置から見える場所で、コーンなどの保安施設の内側で誘導する（国土交通省の指針）。カーブの先や物の陰は避ける
2. **立ち位置と避ける場所を先に決める**：警備会社と工事の会社で事前に打ち合わせ、現場の様子が変わったら見直す
3. **一つの合図に一つの意味**：決めた形ではっきり合図し、分かってもらえたかを車の動きで確かめる
4. **交互通行は両端で息を合わせる**：規制の始まりと終わりに立ち、緊密に連絡する。見通しがよくなければ無線機を使う
5. **後退の誘導は打ち合わせてから**：曲がる向きなどを運転する人と事前に確かめ、死角に入らず、声か警笛で誘導する。壁やほかの車との間に挟まれる場所には立たない

立ち位置・避ける場所・合図の方法と動作は、工事の責任者や作業員と事前に打ち合わせて確かめます（厚木労働基準監督署の要請）。

手旗の使い方の一例

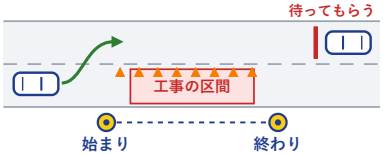


停止
紅旗を左手に持ち、上のほうで素早く振る

進行
白旗を右手に持ち、下のほうで振る

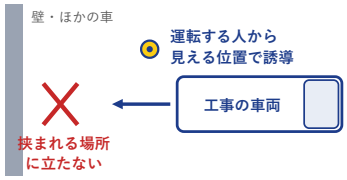
岐阜労働局が紹介した警備の仕事の体験会の説明です。実際の形は、会社の教育で教わるものに合わせます。

片側交互通行の立ち位置



規制の始まりと終わりに警備員が立ち、緊密に連絡します。見通しがよくなければ無線機を使います。

後退の誘導の立ち位置



曲がる向きなどを運転する人と事前に打ち合わせ、死角に入らないようにします。

この現場で決めた合図（打ち合わせで書き込む）

停止：＿＿＿＿　進行：＿＿＿＿　徐行：＿＿＿＿　幅寄せ：＿＿＿＿　後退：＿＿＿＿　無線：＿＿＿＿

※ 合図の細かな形（腕の角度・旗の振り方）は、法令で全国共通に決められていません。会社の教育で教わる形を基本に、現場で事前に打ち合わせて合わせます。合図の種類の図は意味を表したもので、決まった形ではありません。

出典（2026年10月28日に確かめました）：道路交通法 第6条・第7条、同施行令 第4条、警備業法 第15条（e-Gov法令検索）／警視庁「交通誘導警備業務検定（1級・2級）の学科試験及び実技試験の出題範囲及び配点の基準」／厚生労働省「職種：警備業務　職務：交通誘導警備」／国土交通省「土木工事安全施工技術指針」（令和7年3月）／厚木労働基準監督署の要請（令和3年11月2日）／岐阜労働局（ハローワーク高山）「警備のお仕事体験会」。使い方の解説：https://l-security-lit.com/column/traffic-guard-signals

ご利用にあたって：この早見表は、一般的な内容をまとめた参考の資料です。L.SECURITY（合同会社LIT）が実際の業務で使っている資料ではありません。ご利用の際は、内容をご自身でご確認のうえ、勤務先の警備会社の指示に従ってください。この早見表を使ったことによる損害について、当社は責任を負いかねます。

この早見表は L.SECURITY（合同会社LIT・北海道公安委員会認定 第10001029号）が作成しました。https://l-security-lit.com